

## 第3章 計画の目標

### 1 めざす将来像

#### < 将来像 > みんなで創る環境都市 しながわ

東日本大震災は、私たちに計り知れない被害をもたらした大災害でしたが、人々による「絆」の大切さ、すばらしさをあらためて実感するきっかけにもなりました。立場や世代を超えて、一つの目的に向かってみんなで何かに取り組むとき、それは大きな力となり、多くの困難に打ち勝つことができます。

環境問題に目を向けると、地球温暖化やエネルギーの問題は、非常に深刻な状態にあり、日々の生活環境においても改善すべき課題は少なくありません。

これらの課題を克服するためには、区民・事業者・区が「みんな」で取り組むことが不可欠です。

そのためには、まずは一人ひとりが自らの責任と役割を自覚し、それぞれの立場で取り組みを継続することが重要です。そして、これらの個々の力を一つの力にまとめ、大きなうねりを作り出すことで、環境保全の取り組みは大きく進展することになります。

また、品川区は古くから交通の要衝であり、多くの人が集う活気あふれるまちです。この活気を維持しながら環境保全・創出にも取り組んでいくことが、これからのまちの魅力につながります。持続可能な発展を遂げ、生活も産業も環境も向上できる、そんな「やすらぎとにぎわいが同居するまち」を目指すことが、次世代に向けての私たちの責務です。

こうした思いから、品川区では本環境計画の将来像として「みんなで創る環境都市 しながわ」を掲げ、その実現に向けて環境項目ごとに4つの基本目標と、これらを実現するための一つの共通目標を設定しました。

## 2 基本目標・共通目標

### (1) 環境項目に対する基本目標

本環境計画では、将来像を達成するための目標として、環境の区分ごとに4つの基本目標を設定しました。

基本目標を以下に示します。

#### **基本目標 1 持続可能な地域社会を実現する(地球環境)**

##### <低炭素社会を実現する>

省エネルギーの推進や、地域の特性に見合った再生可能エネルギーの導入など、エネルギーの適正利用を推進するとともに、エネルギー効率の高い都市基盤が整備された低炭素社会の実現を目指します。

##### <循環型社会を実現する>

3Rの推進やごみ処理体制を充実し、良好な資源循環を確保することにより、廃棄物の発生を抑制し、環境への負荷の少ない、循環型社会の実現を目指します。

#### **基本目標 2 水とみどりがつなぐまちを実現する(自然環境)**

河川・運河などの水辺や、街路樹・公園などのみどりの質と量を向上させ、さらにそれらの連続性を確保することにより、自然を身近に感じることができる、やすらぎのあるまちを目指します。

#### **基本目標 3 健全でやすらぎのある生活環境を実現する(生活環境)**

産業型公害や生活型公害を防止し、清らかな空気や水、清潔な街並みなどを実現することにより、良好な生活環境を確保します。

#### **基本目標 4 快適で豊かなまちをみんなで伝え創り育てる(快適環境)**

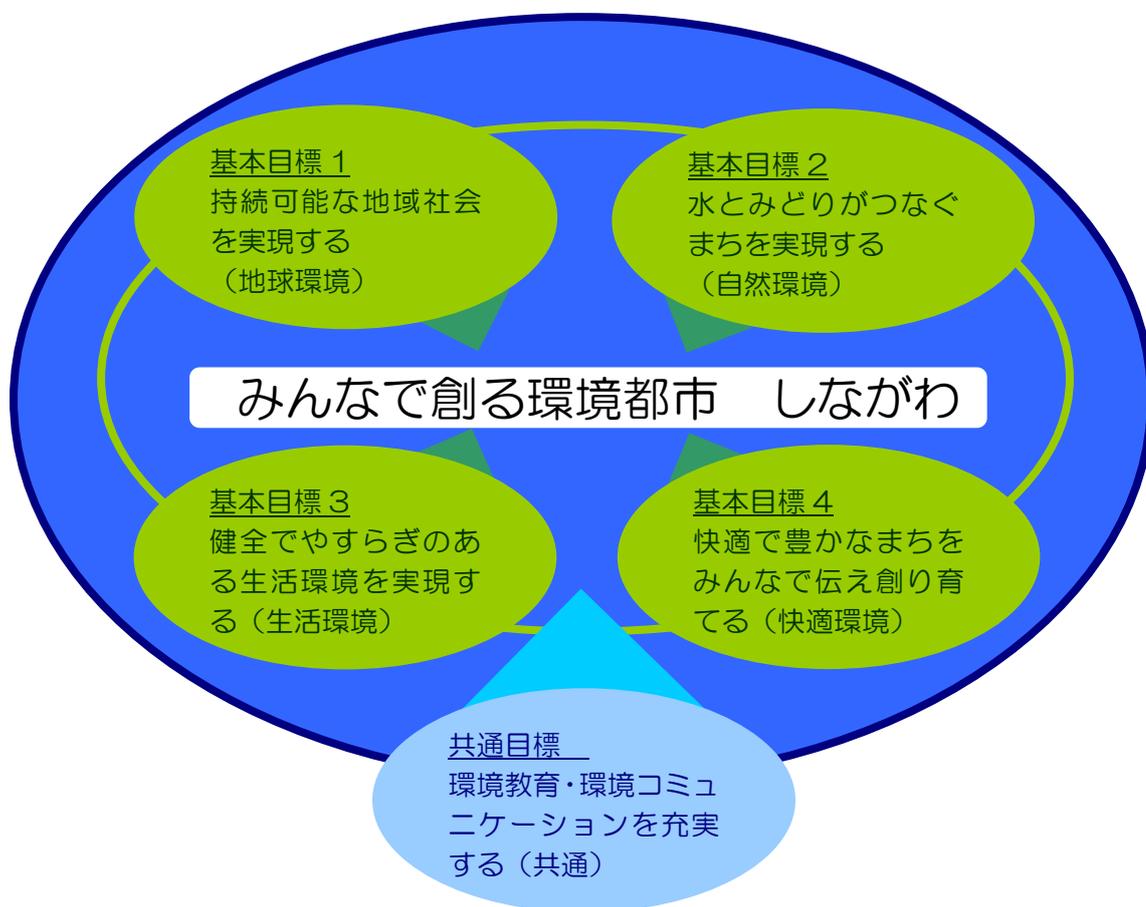
歴史的・文化的環境の保全、良好な景観の形成、身近なみどりや河川の整備などを通じて、水とみどりと歴史をいかした、潤いとやすらぎを感じられる豊かで快適な環境を創造します。

## (2) 基本目標 1～4 を達成するための共通目標

基本目標 1～4 を達成するためには、みんなで取り組むことが不可欠です。そこで、基本目標 1～4 の共通目標として、「環境教育・環境コミュニケーションを充実する」を掲げます。

### 共通目標 環境教育・環境コミュニケーションを充実する(共通)

区民・事業者・区がそれぞれの責務と役割を果たすため、正しい知識を獲得でき、環境の重要性を実感できる体験の機会や場を創出し、「環境」を通して地域の絆を深め、子どもから大人までみんなで環境保全・創出に取り組みます。



<基本目標のイメージ図>